

言語・文学委員会（第24期・第2回）議事要旨

1. 会議名 言語・文学委員会（第24期・第2回）
2. 開催日時 平成30年4月3日（火）12時00分～13時30分
3. 開催場所 日本学術会議5-A会議室
4. 出席者 松浦純（委員長）、木部暢子（副委員長）、吉田和彦（幹事）、渡部泰明（同）
5. 議事概要
 - ①前回、平成29年10月4日（水）に開催された第1回言語・文学委員会の議事要旨を確認した。
 - ②4分科会、古典文化と言語分科会、文化の邂逅と言語分科会、科学と日本語分科会、人文学の国際化と日本語分科会のこのかんの活動について報告があった。

古典文化と言語分科会：
平成30年1月21日（土）、東京大学本郷キャンパスにおいて第1回分科会を開催し、役員を選出した。委員長 小倉孝誠、副委員長 倉員正江、幹事 安藤 宏、同 西村賀子。
平成30年3月31日（日）、慶應義塾大学にて第2回分科会を行った。三宅晶子委員が研究発表「古典教育の現状－小学校・中学校の国語教科書－」を行い、その内容を踏まえて討議を行った。また当面、日本の古典教育、教科書の現状について問題点を明らかにし、その後諸外国の古典教育の現状について検討を行うという活動方針を取り決めた。

文化の邂逅と言語分科会：
平成30年1月21日（土）、東京大学本郷キャンパスにおいて第1回分科会を開催し、役員を選出した。委員長 伊藤たかね、副委員長 斎藤兆史、幹事 林 徹、同 原田範行。また、今期の活動方針として、大学入試における英語を取り上げることにした。

科学と日本語分科会：
平成30年1月21日（土）、東京大学本郷キャンパスにおいて第1回分科会を開催し、役員を選出した。委員長 工藤真由美、副委員長 金水敏、幹事 鈴木泰、同 才田いずみ。活動方針としては、前期に提出した提言「音声言語及び手話言語の多様性の保存・活用とそのための環境整備」の検証と広報を今年度、行うこととなった。

人文学の国際化と日本語分科会：
平成30年1月21日（土）、東京大学本郷キャンパスにおいて第1回分科会を開催し、分科会役員を次のとおり選出した。委員長 竹本幹夫、副委員長 窪菌晴夫、幹事 桑原聡、同 米田信子。また今後の活動方針について議論した。

③②の報告を踏まえて、今後の各分科会の活動予定について審議を行った。

④言語・文学委員会に設置されている各分科会の議決について、委員長が特に委員会の議決を必要とすると判断した場合を除いて、分科会の議決をもって当委員会の議決とすることを定めた。